

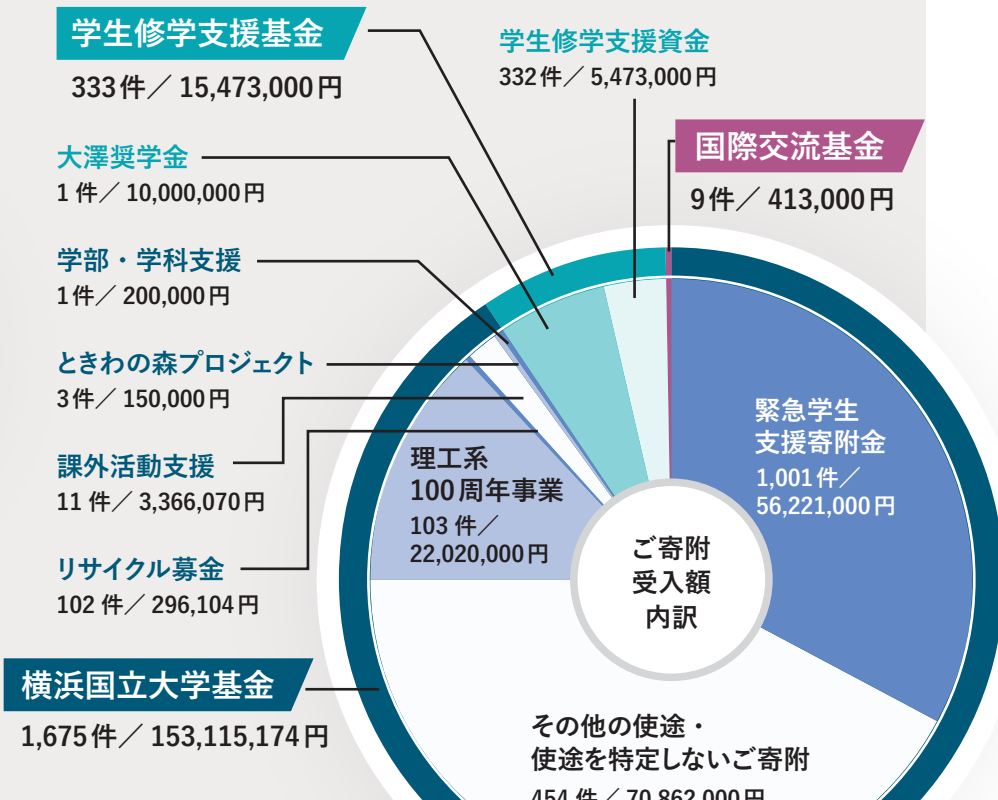
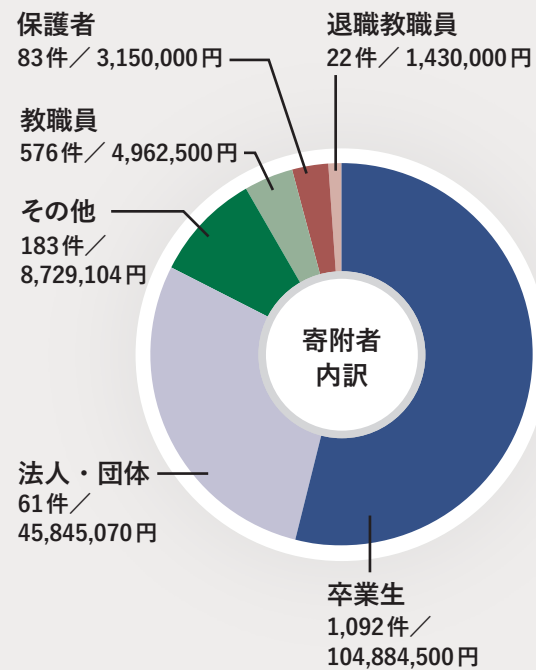
# 2020年度の概要

## ご寄附受入額

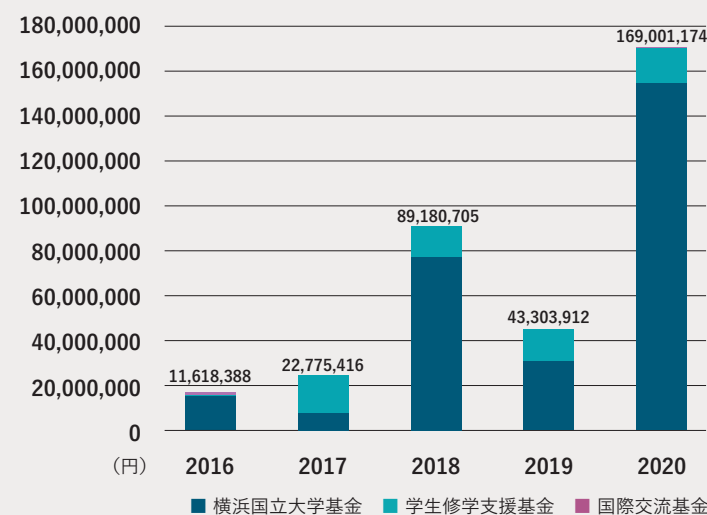
2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大による、緊急学生支援寄附金の募集を行い、多額のご寄附をいただきました。ご寄附ご協力を賜りました皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

寄附受入件数 **2,017** 件 / 寄附受入総額 **169,001,174** 円

※2020年4月1日～2021年3月31日



## 基金設立からの寄附受入額の推移(年度別)



	横浜国立大学基金	学生修学支援基金	国際交流基金	合計
2016	10,248,388	370,000	1,000,000	11,618,388
2017	7,110,416	15,645,000	20,000	22,775,416
2018	75,560,205	13,490,500	130,000	89,180,705
2019	29,491,412	13,761,500	51,000	43,303,912
2020	153,115,174	15,473,000	413,000	169,001,174
合計	275,525,595	58,740,000	1,614,000	335,879,595

横浜国立大学基金への温かいご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。皆さまから賜りましたご寄附は、本学の様々な支援事業にて有効に活用させていただいております。

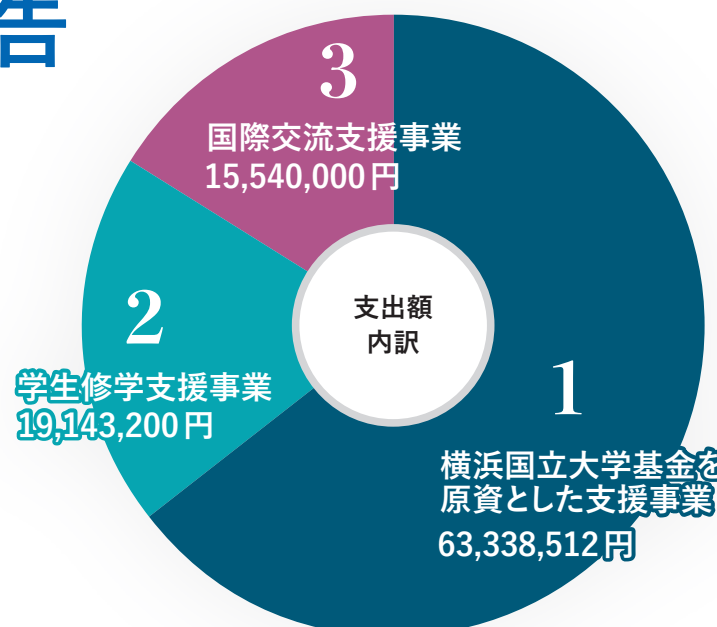
# 2020年度活動報告

## 支出報告

支出合計 **98,021,712** 円

※2020年4月1日～2021年3月31日

皆さまから賜りましたご寄附は、教育・研究活動支援として各事業に活用させていただきました。



## 1 横浜国立大学基金を原資とした支援事業

### 緊急学修支援事業

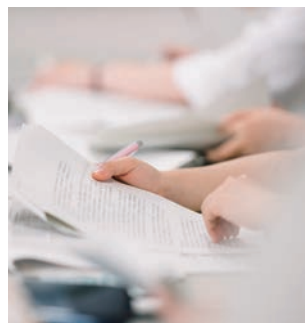
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生活に困窮する学生を支援するため、本学では「緊急学生支援寄附金」を募集しました。趣旨にご賛同いただいた多くの卒業生、保護者、企業や団体の皆さまから、励ましのお言葉と、多くのご寄附が寄せられました。おかげをもちまして、皆さまからいただきましたご寄附をもとに学生への緊急生活支援奨学金を支給させていただくことができました。皆さまからのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。

支援数 **400名 × 50,000円** (2020年8月支給)  
**391名 × 50,000円** (2020年11月支給)

### 査読付国際ジャーナル論文投稿支援事業

本学の研究成果がより広く認知されることを狙い、研究室運営のための予算が厳しい状況でも、影響度の高い学術雑誌へ論文投稿が行われるよう、費用の一部を補助する事業です。

支援数 **16件 13名の論文投稿を支援**  
**1件当りの投稿料約37,000円～200,000円**



## 緊急生活支援奨学金 受給学生からの感謝の声

### 理工学府 2年

この度は、我々学生を支援していただきありがとうございます。皆さまからいただいた支援金を大切に使用させていただき、社会に大きな恩恵を与えるような研究成果を挙げるため、日々の研究に取り組みます。

### 都市科学部 2年

家族や自身が飲食業に従事しているため、家計の収入減により切り詰めた生活を送っていました。大学図書館への交通費や教材費、資格試験受験費用に充てたいと思います。この度はご支援を賜り誠にありがとうございました。

### 経営学部 3年

卒業生や保護者、地域の皆さまなど、私たち学生のために寄附をくださった全ての方々、本当にありがとうございます。バイト先が無期限営業停止となり、4月からの4ヶ月間無収入に近い生活でした。皆さまのおかげで、生活だけでなく心にもゆとりが生まれます。本当にありがとうございました。

### 教育学部 4年

今回はこのような形で支援をしていただき、本当にありがとうございます。自分には教員になりたいという昔からの夢があるため、いただいたお金は教師としてのスキルアップのための勉強に使わせていただきます。今回の支援が無駄にならないよう、精進していきます。

### 経済学部 3年

バイトが減ってしまい、このままでは生活費、学費が払えず修学を続けていくのが難しい状態でした。就活もオンラインで始まっていく中、思うようにバイトもできず、行動が制限されていました。しかし、今回の給付を受けることで修学を継続できます。本当に感謝しております。これから更に勉学に励んでいく所存です。

## 2 学生修学支援事業

### YNU大澤奨学金

本学卒業生の方からのご寄附により設立された、給付型の奨学金です。

支援数 **15名 × 600,000円** (継続11名+新規4名)



### YNU竹井准子記念奨学金

本学卒業生の方のご遺志によるご寄附を基に設立された、給付型の奨学金です。

支援数 **11名 × 600,000円** (継続9名+新規2名)



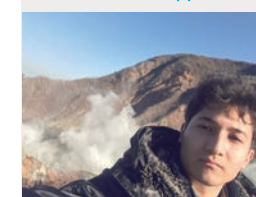
### 新入生スタートアップ支援金

新たに始まる新生活を支援することを目的とした給付型の奨学金です。



支援数 **26名 × 150,000円** (採択年度に一回限り支給)

## 奨学生からの感謝の声



都市科学部 2018年入学

私はYNU大澤奨学金のおかげで、金銭面・生活面で困窮することなく、充実した大学生活を送ることができました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。私には入学時点で明確な目標がなく、自身の将来を長らく決めかねていました。しかし、所属するジャーナリズムゼミでの経験を通じて、マスコミの道へ進みたいと思うようになりました。そして現在は、就活生として夢を掴む努力をしています。

奨学金のおかげで地域実習プロジェクトやオーストラリア短期研修にも参加できました。これらを通じ、多くの人と関わりを持つことで広い視野を持つことができたと思います。人生で一度の大学生活、今しかできない経験はいつか役に立つと信じています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、大学最後の日まで、自分のやりたいことには積極的に挑戦する心持ちです。



経営学部 2018年入学

私は竹井准子記念奨学金のおかげで、金銭面の心配なく、勉学やサークル活動に全力を注ぐことができました。特にサークル活動では、大好きなダンスを大学でも続け、サークルとして史上初の単独公演を成功させることができました。現在は、将来に向け資格の勉強をしています。新型コロナウイルスの影響で全てオンライン講義に切り替わり、周りの動

きが見えず、心細さを感じることもありますが、自身の掲げる目標を実現するため、日々精進しております。こうして充実した大学生活を送ることができているのは、竹井准子様をはじめ、奨学金を実現してくださったご遺族の方々のおかげです。本当に感謝しております。残りの学生生活も、多くの方々に支えられていることに感謝しながら、精一杯努めてまいります。

## 3 国際交流支援事業

### 学習環境整備支援奨学事業

コロナ禍での収入減少により生活に困窮する私費外国人留学生を対象とした、給付型の奨学金です。

支援数 **108名 × 50,000円**

### 国際会議等出席・海外調査等奨励金

海外における国際会議等での研究発表や調査研究等に取り組む学生を対象とした、給付型の奨学金です。

支援数 **8名 × 30,000円** (オンライン参加費)

### アカデミックキャリア支援グローバル大学院プログラム奨学金事業

新興国の大学等に在職博士号の取得を目指す教員を対象とした、給付型の奨学金です。

支援数 **4名 計6,000,000円** (15万×12か月)  
 ※2019年度入学者2名は10万円×12か月  
 ※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「外国人研究者等招へい事業」、「職員の海外派遣事業」、「交換留学派遣生奨学金」の実施を中止しました。

### YCCS特別プログラム60周年記念事業

英語による授業のみの留学生対象プログラムに在籍する私費外国人留学生を対象とした、給付型の奨学金です。

支援数 **2名 × 300,000円**

### 私費外国人留学生奨学金

私費外国人留学生を対象とした、給付型の奨学金です。

支援数 **11名 × 300,000円**



## 1 八幡ねじ・鈴木建吾奨学金設立 ～修学困難な学生支援の為に「ご寄附」いただきました～



鈴木 建吾 様 SUZUKI Kengo

1947年、名古屋に生まれる。1969年、横浜国立大学経済学部卒業。富士通株式会社入社。1971年、株式会社八幡ねじ入社。1987年、同社代表取締役社長就任。2018年、同社代表取締役会長就任。2019年春の叙勲にて「旭日双光章」受賞。2021年度「YNUプライド卒業生」受賞。「愛知県産商協同組合 理事長」「日本ねじ商業協同組合連合会 会長」「名古屋東ロータリークラブ 会長」「東海富丘会 会長」歴任。

2021年4月1日から、新たな学内奨学金として「八幡ねじ・鈴木建吾奨学金」の募集を開始いたしました。当奨学金は、株式会社八幡ねじ様と同社代表取締役会長の鈴木建吾様より賜りましたご寄附を原資として、経済的理由により修学が困難な学生を支援することを目的に設立されました。

今では当たり前となったホームセンターでねじをサイズ別に少量パッケージ化して最初に販売したのが同社です。なお、代表取締役会長の鈴木建吾様は、1969年経済学部ご卒業の本学OBです。当奨学金は「経済的理由により修学が困難な学生が学業を諦めることのないように、未来を創る人材育成に役立てたい」という鈴木様の想いから設立に至りました。

## 2 高額寄附者銘板リニューアル

本学本部棟入口に掲示しております「横浜国立大学基金 高額寄附者銘板」をリニューアルしました。この銘板は、2016年9月に創設した本基金の趣旨にご賛同いただき、ご寄附のお申し出がありました方々への感謝の意を表し、末永く顕彰するため設置したものです。

累計100万円以上\*のご寄附をいただいた皆さまのご芳名をプレートに記し、掲示させていただいております(法人・団体の皆さまは1,000万円以上\*)。なお、氏名の公表を希望されない方からも多くのご寄附を頂戴しております。皆さまからの温かいご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。



高木基金担当理事

梅原学長

※累計のご寄附額毎に銘板の色を変え掲示させていただいております

## 寄附者の声

私はこれまでに、理工学部生の自発的な研究テーマ挑戦プロジェクトである「ROUTE<sup>※</sup>」への支援や、先生方や大学院生の海外論文投稿や発表の支援として、大学基金に合計1億円の寄附をいたしました。このような寄附ができた背景、これまでの道程を述べさせていただきます。私は、1969年に工学部応用科学科を卒業し三菱商事に入社しました。製造業と海外合併をしたり不振子会社の再建に積極的 hands を挙げるなど、他の人が望まない仕事にも前向きでした。企業の再建ビジネスに興味を持ち、赤字に苦しむヘルメットメーカーのSHOEIへ再生担当として赴任した私は、派遣元である三菱商事を自ら退職し、SHOEIに骨を埋める決意

で乗り込みました。その後再建は順調に進み「情操と合理のバランス経営」を旗印として、自分の会社は自分で守るという精神の下、当時としては最短の5年半で更生計画を終了し、その後も山谷はありましたが、SHOEIは世界一の高級ヘルメットメーカーとなりました。当然私の商事からの退職金や銀行借入による投資は大きな利益を生む結果となりました。そこでこのようなストーリーの原点にある母校へ、恩返しとして寄附をさせていただいた次第です。現在76歳、3年前にSHOEIの健全な成長力を確認して会社を後輩に託し引退しました。常に人が喜んでくれることが、自分の幸せという事を念頭にこれからの人生を歩みたいと思っています。



山田 勝 様  
YAMADA Masaru  
1969年（昭和44年）工学部卒業  
株式会社SHOEI  
元代表取締役社長・会長



※ROUTEとは

学部学生が理工学の最先端の研究に参加できるプロジェクト。意欲のある学生に早い段階で研究の面白さに触れる機会を提供することで、より自発的に学ぶ姿勢を身につけ、専門性を持ち、なおかつ国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成することを目的とした、「出る杭を伸ばす」プログラム。

## ■ ご寄附のしかた

横浜国立大学基金WEBサイトや、スマートフォンからお申し込みいただけます。

### 金融機関等でのご寄附

#### 振り込み

別添の払込取扱票に必要事項をご記入の上、郵便局または横浜銀行・三菱UFJ銀行の窓口でお振り込みください。

#### 口座振替

卒業生・基金室までご連絡ください。

### 遺贈によるご寄附

お話を伺いながら、ご意思に沿った支援内容のご相談、提携銀行のご紹介をいたします。卒業生・基金室(045-339-4443)までお気軽にご相談ください。

※協定を結んでいる銀行・信託銀行

三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/りそな銀行

### クレジットカードでのご寄附



インターネットからのクレジットカード決済によりご寄附いただけます。

※1回もしくは継続的なご寄附を選択できます



### リサイクル募金によるご寄附

本・DVD・ゲーム等のリサイクル品を活用することで、横浜国立大学の教育・研究を支援するプロジェクトです。



現金のほか、株や現物等によるご寄附も受け付けていますので、ご相談ください。

## ■ 税制上の優遇措置

### 個人のご寄附

#### 所得税の控除

横浜国立大学基金へのご寄附は、所得控除の対象となります。また、本学の「学生修学支援基金」及び「研究等支援基金」に対するご寄附は、確定申告の際に所得控除または税額控除のいずれかをお選びいただけます。

**所得控除** 寄附金額から2,000円を差し引いた額が総所得から控除されます。

**税額控除** 寄附金額から2,000円を差し引いた額の40%が税額から控除されます。

#### 住民税の控除

お住まいの都道府県・市町村によっては、個人住民税の控除が受けられます。詳しくは、お住まいの都道府県・市町村にお問い合わせ願います。

### 法人のご寄附

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。

## ■ ご寄附いただいた方への謝意

横浜国立大学基金にご寄附をいただいた皆さまに感謝の気持ちを込め、様々な形で顕彰をさせていただきます。

高額寄附者銘板 <sup>※1</sup>	個人	法人
銘板(ゴールド)の掲示	1億円以上	1億円以上
銘板(シルバー)の掲示	1,000万円以上	5,000万円以上
銘板(グレー)の掲示	100万円以上	1,000万円以上

謝意	個人	法人
記念楯の贈呈 <sup>※1</sup>	500万円以上	1,000万円以上
感謝状の贈呈	30万円以上	100万円以上
附属図書館利用カード <sup>※2</sup>	10万円以上	-
YNUオリジナルグッズ <sup>※2</sup>	1万円以上	-

※1 高額寄附者銘板への掲示及び記念楯の贈呈は、ご寄附累計金額が該当金額に達し次のご案内いたします。

※2 緊急学生支援寄附金へのご寄附につきましては、できる限り学生支援に充てるために、当返礼品の対象外事業とさせていただきます。ご了承ください。

### 記念楯 感謝状 YNUオリジナルグッズ一例



#### ご芳名の掲載

横浜国立大学基金WEBサイト内のご芳名帳に、ご寄附いただいた皆さまのご芳名を掲載し、永く横浜国立大学の歴史に刻まさせていただきます。

※ただし、「お名前の掲載を承諾しない」旨のご連絡をいただいた方につきましては掲載いたしません。

横浜国立大学 卒業生・基金室

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1

E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp /

TEL : 045-339-4443 / FAX : 045-339-3034

横浜国立大学基金

https://kikin.ynu.jp/



# 横浜国立大学基金 2020年度活動報告書

YOKOHAMA National University Fund

